

## 研 修 ( 研 究 ) 報 告 書

令和 4 年 4 月 1 2 日

玉名市議会

議 長 近松恵美子 様

氏 名 山下桂造  

下記のとおり、参加（開催）しましたので報告します。

参加議員	山下桂造		
日 時	令和 4 年 4 月 1 1 日 ( 月 ) ~ 令和 4 年 4 月 1 2 日 ( 火 ) 午前・午後 1 3 時 0 0 分 ~ 午前・午後 1 2 時 3 0 分		
場 所	自宅で ZOOM によるリモート参加 ( 全国市町村国際文化研修所 )	参加者数	130 名 + 106 名 ( リ モート ) 計 236 名
研修(研究)事項	令和 4 年度「第 1 回市町村議会議員特別セミナー」		
概要及び所見	<p>講義 1 「地方行政と政策デザイン」 福井県知事 杉本達治氏</p> <p>杉本知事の福井県政についての説明であった。</p> <p>印象に残ったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・徹底現場主義 ( 県民主役 )</li> <li>・職員クレド</li> </ul> <p>① 現場って本来の職場 ② 挑戦って毎日するもの ③ 協働って仕掛け作り ④ 創意工夫って現状打破 ⑤ 効率化って決める覚悟</p> <p>上記 5 点に基づき責任もって行動している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題発見→実行→改善をできるだけ早くまわす。</li> <li>・若手職員の考えを取り入れている。</li> <li>・若者・女性の積極登用</li> </ul>		

チーム福井 市と町だけで 17 自治体 県と市・町の長が年 2 回  
集まり制作ディスカッションをしている。

日本一の新型コロナ対策「福井モデル」

人員を集中させることで、職員の負担も減らし、業務を速やかに行っている。

(所感) 県知事の行動力に感心するとともに私ももっと柔軟か頭にならなくてはと考えた。

### 講義 2 「日本の少子化対策はなぜ失敗したのか。」

中央大学文学部社会学専攻 教授 山田昌弘

少子化問題は、日本人の考え方に根本問題があったことがわかった。30 年前は通用していたと思う考え方が変えられないことが少子化対策、結婚問題にかかわっているということで、大変興味をそそられた。すぐに考え方を考えるのはとても難しいことと思うが、詳細は山田教授の著書「日本の少子化対策はなぜ失敗したのか」に詳しい。

(所感) ほんとに眼から鱗の講演だった。結婚しない・できない理由がよくわかった。経済から切り離れたところで結婚を考えていくように誘導しなくてはならないのではと考えている。

### 講義 3 「行動する SDGs ～「ごみ」からのアプローチ～」 京都大学大学院地球環境学部 准教授 浅利美鈴

SDGs の社会をどうつくっていくかをゴミを中心に話をされた。SDGs ということが国連からだされる遙か以前からゴミの問題など議論されてきていたが、あまり、真剣に取り組まれてはいなかった。SDGs がでてきて、多くの国民の関心があることになっている。

京都市では 1980 年に比べて現在ゴミの量が半分に減少しているということだった。

(所感) ゴミの問題ということで、考え方の視点をいろいろ聞くことができたのが、良い点だった。まだ、私自身納得できないところがあるので、真剣に考えてみたい。

講義4 「歴史的資源を活用した観光まちづくり」 バリューマネジメン  
ト株式会社 代表取締役 他力野淳

愛媛県大洲市でお城に泊まるということを企画運営している会社社長のお話だった。

個人所有の文化財・自治体が持っている文化財・寺社が持っている文化財どれも維持するのが大変な時代になってきている。それらを、いかに活用して収入にもっていくかについてのお話だった。

文化財を生かした町作りということで、実際に経営に運営を自治体などと共同して行っている。文化財は税金を投入して維持してきたが、今後は自ら稼ぐようなことをしなくては続かない。そのためには、宿泊施設が「旅の目的」となるようにしなくてはいけない。ということで最終的には地元にお金が落ちて、お店もできて、地域の経済が回っていく。

大阪城の経営をこの会社が行っている。引き継ぐ前は赤字だったが、現在は黒字で経営しているということもいわれた。

印象に残っていることは「旅の目的となる施設」をつくるということだった。そして、自らが観光客を呼び込める力をつけることが大切。


(所感) 話をききながら、玉名でも、立派な民家が残っており、地域の核となるようにすることができるかなと考えていた。玉名に人を呼び込まなくては今後の発展はないと考えていたので、この講座はほんとに私にとって的を得たものだった。

## 研 修 報 告 書

令和 4 年 6 月 1 日

玉名市議会

議 長 近松恵美子 様

氏 名 山下桂造 

下記のとおり、参加しましたので報告します。

参加議員	山下桂造		
日 時	令和 4 年 5 月 9 日 (月) ~ 令和 4 年 5 月 13 日 (金) 午後 4 時 00 分 ~ 午前 12 時 15 分		
場 所	全国市町村国際文化研修所 (JIAM)	参加者数	78 名
研修(研究)事項	新人議員のための地方自治の基本		
概要及び所見	<p>5 月 10 日</p> <p>① 地方自治制度の基本について (野田遊) 住民自治 (市町村民が政策を決定) 団体自治 (国や府県ではなく市町村が政策を形成) これら二つで地方自治と学んだ。しっかりと議員として住民の意見が尊重されるようにしていかななくてはならないと考えた。</p> <p>② 地方議会制度と地方議会改革の課題について 他 (高沖秀宣)</p> <p><input type="checkbox"/> 地方議会は議事機関 (多数人の合意によって団体の意思を決定する機関)</p> <p><input type="checkbox"/> 主な議決事項</p> <p>(1) 条例の制定・改廃</p> <p>(2) 予算を決めること ⇒ 「決定」であって「承認」ではない。</p> <p>(3) 決算を認定すること</p> <p>その他学ぶべき事が多く、議会人としてしっかりと取り組みたいと考えている。</p>		

5月11日

③ 地方議会と自治体財政（金崎健太郎）

自治体予算の原則ということで講義があった。

予算の意義

(1)自治体の行政がどのように行われるかを具体的に表現した一覧表

(2)住民を代表して議会が首長をコントロールする手段

(3)予算を通じて首長が行政執行をコントロール

(4)住民に情報提供、納めた税金がどのように使われ、効果が住民に還元されるかを判断する基礎

財政が良い悪いとは一概に言えないということがわかった。

5月12日

④ 地方議員と政策法務 他（穴戸邦久）

自治体における「政策」

公共的な課題を解決するための活動方針で目的・手段の体系。

自治体における「法務」

条例や規則を制定する「立法法務」、既存の法令や条例を解釈・運用する「解釈法務」、など、およそ法的な観点を持つ仕事全般を含むもの。

⇒「政策法務」：自治体が目的を達成するために、法的な観点から合理的な判断を行いながら仕事をする事

市民から国への流れが大切とも教わった。

5月13日

⑤ これからの自治体議員に期待されていること

～総務省「デジタル時代の地方自治のあり方に関する研究会報告書」を踏まえて～（金井利之）

既存の法令をうまく解釈して、できることを増やす。（0から生み出すことができる。）

自治体だけでは力に限りがあるので、外部に助けを求める。

所感 多くの事を知ることができたが、これを自分の事として実践していくためには、何度も資料を読み返して少しでも市民にとって役に立つように頑張っていきたい。

様式 1

# 研 修 ( 研 究 ) 報 告 書

28  
令和 4 年 4 月 28 日

玉名市議会  
議 長 近松恵美子 様

氏名 山下桂造 

下記のとおり、参加しましたので報告します。

参加議員	山下桂造		
日 時	令和 4 年 4 月 27 日 (月) 午後 1 時 ~ 午後 4 時 20 分		
場 所	玉名市小田	参加者数	2 名
研修(研究)事項	希少水棲生物の保護について		
概要及び所見	<p>藤井法行先生 (元熊本県立高等学校教諭 若い頃より県内の魚類研究をされている。熊本県では魚類研究の第一人者阿蘇市在住) を招いての現地研修</p> <p>玉名平野にはセボシタビラをはじめ絶滅の恐れがある魚類が複数いる。そのように貴重な魚類がいるというのに、市役所はじめ市民の関心は低く、貴重な魚類を保護しなくてはならないところが、まだまだ、関心が低くこのままでは、生物多様性が失われてしまいかねない。</p> <p>今回、玉名平野の重要性を知ったので、淡水魚類の保護をするためにどういう視点で活動するべきか。また、現地を見ていただき、その場所の魚類生存の可能性や、もうすでに 3 面張りで作られた水路でも、貴重な魚類や貝類が生きていくことができる環境を作り出す方法など教えていただいた。</p> <p>今後、まず、貝類調査を実施、藤井先生とも協力して、調査研究を進め、このことを水路管理にいかすための方策を考える。</p> <p>藤井先生に交通費を 3000 円政務活動費より拠出</p>		

## 報告（広聴・住民相談）会報告書

令和4年11月10日

玉名市議会

議長 近松恵美子 様

氏名 山下桂造



下記のとおり、開催しましたので報告します。

参加議員	山下桂造		
日時	令和4年11月5日（土）～令和 年 月 日（ ） 午後14時00分～午後16時00分		
場所	玉名市民会館 第2会議室	参加者数	50名
会議名	市政報告会		
内容	<p>14時から15分間山下の市政報告 今までにできたこととできていないことを分かるようにしてプリントで説明</p> <p>14時15分から15時まで、市民の声を聞く。 15時10分から16時まで、意見交換をしたい人のみ意見交換</p> <p>上記の時間に出てきた内容は以下のとおり。 テーマ 「市民の笑顔が人を呼び込む町 どういう町なら人が呼び込まれるか。」 番号を打っていますが、これは発言の順番です。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 文化事業を増やす。荒尾市民会館の活動は玉名よりもよい</li><li>2 美術館の設置</li><li>3 安心安全な町を（この発言に対して具体的にはどのようなことですか。） 河崎の水路の問題 数年前から水害が発生するようになった。</li></ol>		

4 玉名市内の伝統文化をしっかりと継承していくこと（各地域での）  
笑顔になる理由

文化的な行事をしていること⇒人が集まる⇒人がつながる⇒笑顔

5 たまニャンペイについて（やり方を変更する）

今回の商品券について

期間が短い。他の市では年末年始に使える期間設定をしている。

肥後銀行や関わる企業にお金をかけているが、この処理費をもっと減らして住民に還元する。

商工会議所にも相談していない。

よりやすくなる方法はなかったか。

私も失敗したと考えている。お金をもっていないと購入できない。

山下としても議会をすんなり通したことを反省（皆に平等に配布するとよかった）

6 区役ですべきもの・市ですべきもの管理するもの 一度洗い直して  
みる必要がある。

区役に関する情報を頂いた。

昭和 35 年までは区役で地域をきれいにすることが当たり前に行われてきたが、それ以後、日本の経済成長があったので、自治体がするようになった。

7 合志市商品券で笑顔（調べて見ると全世界帯 3000 円で 9 月から 12 月までつかえる）

合志市ウェルネスシティ（健康ポイント）

8 玉名市は合併後ばらばら 議会がばらばら 市民もばらばら

ここに図書館があるならこちらもつくれということ

荒尾市はもともと市だからよいよう

玉名市としてまとまるように

9（8を受けて）老人会はまとまっている。いろいろ工夫して市民会館を利用する行事をおこなっている。

ここは 15 時でいったん終了した。（以後はさらに残ってくださった方）

10 築山小学校の校区割をみなおして（大野小学校と築山小学校）

11 西日本新聞には菖蒲祭りでも玉名以外の記事が掲載されている。玉名のことが掲載されない。プロモーションが大切。



1 2 議会の処理

議事録の公開まで時間がかかっている

すべての語句が記入してあるのは無駄ではないか。

話し言葉、熊本弁で言っている人もいる。

インターネットへの掲載も遅い。

統一教会では平成 30 年にピュアフォーラムの請願ででている。このことについて議員は精査しなかったのか。なんでも請願がおとる  
⇒ (山下、出所をしっかりと確認せよ。)

議会での賛否について書くように提案したが、今では何という法案に賛成したのか反対のかわからない。書くべきだ

1 3 広報玉名について

1 から 2 ページが、写真に文字が載せてあって、とても読みにくい。改善してほしい。

1 4 玉名市にはポイ捨て注意の看板が一つもない。

1 5 草が生えていてとってほしい。協力してほしいということをおはなししたら、

見える人がだまってやればよいということ、草があってもなんとも思わない人がいるので、見える人がとるしかない。

(今回の参加者) 私の市政報告に書いてあるので、今まで政治には関心がなかったが来てみようということでこられたかたが多くいます。

報告会を実施して、初対面の方が何人もきてくださったことにほんとにありがたいと思った次第である。このことは市長に連絡している。まだ、連絡すらできていないところがあるので今後とりくんでいく。